

9月4日・5日 近畿ブロックにて「保護司のための SST 研修」を開催しました

【近畿ブロック】 アークホテル大阪心斎橋

講師：瀧本 優子氏（SST 普及協会認定講師）、足立 一氏（SST 普及協会認定講師）、

北岡 祐子氏、福永 佳也氏、上原 央氏、片山 和美氏

参加者：32名（大阪2名・京都4名・大阪14名・神戸7名・奈良2名・和歌山3名）

初めに、SSTの基礎理論についての講義があり、少年刑務所や更生保護施設で、どのようにSSTが活用されているか紹介がありました。

続いては、コインマップについて説明です。実際に隣の席の人とコインマップを体験したところ、「人間関係が理解しやすく、本人も整理できると思う」、「手ごろなツールでどこでもできる」「話のきっかけになる」等の感想がありました。

その後、問題解決技能訓練の説明（教材「生きる力をつける支援のためにー保護司面接のためのSSTマニュアルー P63）があり、実際に、「対象者がなかなか話さない時の工夫」について問題解決技法を用いて、短所・長所等についてみんなで意見を出し合いました。



コインマップの様子



問題解決技法を用いた演習の様子

2 日目は、体を使ったウォーミングアップから始まり、講師のシナリオによるデモンストレーション（同教材 P 5 0～5 5、P 5 7～6 0）を見た後、3つのグループに分かれて、面接練習を行いました。練習課題として、「なかなか来てくれない対象者に対する工夫」、「就職面接時の空白期間の理由」、「14 年ぶりに会う対象者にどのように声をかけ、話をしたら良いか」等が挙げられました。



体を使ったウォーミングアップ



Aグループ

「初回または、久しぶりの面接」をテーマに面接練習



「仕事の失敗の謝り方」をテーマに
2人1組で面接練習。



「来訪に遅れてきた対象者への声掛け」をテーマに面
接練習

32名の参加者が、10時間の研修を終え、講師からS T普及協会規程初級コースの修了証書が授与されました。